避難所で新型コロナウイルス感染症にどう対応するか

創政会　古市　正

●新型コロナウイルス禍における災害対応について

Q　感染症に対応した避難所マニュアルの作成状況は。

A　換気や健康管理など、避難者や運営者双方に向けた「感染症を踏まえた避難所運営のポイント」を作成した。

●GIGAスクール構想への対応について

Q　感染症の拡大で、児童・生徒1人1台の端末整備などを盛り込んだGIGAスクール構想を取り巻く状況が変化したが、今後の対応は。

A　端末は、全学年分を年度内に整備するための準備を進めており、遠隔学習などに必要な情報通信技術（ICT）の環境整備も検討している。

●学習の遅れを取り戻す手だてについて

Q　小・中学校が約3カ月間休業し、学習の遅れが生じたが、本市の方針として授業時数をどう確保するのか。

A　感染拡大防止に万全の措置を講じながらも、学びの保障に努めるよう指示している。長期休業期間の短縮や行事の精選などで確保する。

Q　卒業を控える小学6年生と中学3年生は次の学年に学習内容を持ち越すことができないが、追加で課業日の設定は考えていないのか。

A　授業時数の確保に努めているため、追加の設定はせず、年度内に学習内容の履修が可能と考えている。

新型コロナウイルス対策で児童・生徒への心のケアは

あやせ未来会議　佐竹　百里

●市内小中学校での新型コロナウイルス対策の取組について

Q　新型コロナウイルス感染症による長期休業で児童・生徒の心は不安定な状況が続いているが、どのように心のケアをしているのか。

A　分散登校時は、小人数の利点を生かし、児童・生徒一人一人の様子を観察し、声を掛けた。アンケートの実施により、心身の状態を把握し、適切な支援につなげている。

●公共施設の利用ガイドラインについて

Q　所管課や施設の規模が違う各公共施設での課題を共有し、それを踏まえた対策が必要と思うが、市としてどう連携していくのか。

A　各施設の利用再開後、問題点や課題が生じた場合、各所管と指定管理者などで協議するとともに、感染症対策本部会議に報告することで情報共有を図るなど、より効果的な対策を講じていく。

●令和2年度予算事業における「新しい生活」への対応について

Q　新しい生活様式に合わせ、感染症対策を重視した上で、予算事業の見直しが必要になると考えるが、対応は。

A　書面主義などにより、行政のデジタル化は遅れている。今後、速やかに調査研究を進め、事業の中止により不用となった予算の組み替えや交付金などで対応していく。

学校再開後の新型コロナウイルス感染防止対策は

創政会　笠間　功治

●新型コロナウイルス感染防止対策とそのための教育環境構築について

Q　感染拡大の第2波も想定し、再び子どもたちの学習機会が奪われることのないよう対策すべきと考えるが、小・中学校の再開に伴い、どのような対策を行っているか。

A　分散登校期間を設けて段階的に再開をした。手洗いの徹底やマスクの着用、教室の換気などの対策とともに、グループ活動や調理実習の見合わせなど、密にならない学習形態の工夫を行っている。

Q　さまざまな感染防止対策を行う上で、どのような問題点や課題があるか。

A　マスクの着用と教室の換気による室温の上昇を考慮しながらの熱中症対策や感染症への不安など、児童・生徒の心のケアが必要である。個人を基本とする学習形態が続くことで、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が困難になると考えられる。

Q　市教育振興基本計画では、少人数学級やICT化の推進に取り組むとしている。長期的・計画的に感染拡大を防ぐために有効と考えるが、今後も位置付けていくのか。

A　現行計画の計画期間の終了に伴い、次期計画を検討している。子どもたちの学びを保障するため、今後も計画に位置付けていく。

冠水経験がある上土棚地区での避難の在り方は

あやせ未来会議　石井　麻理

●新境橋付近の河川工事について

Q　豪雨などで冠水経験がある住民にとって、河川工事の遅れは不安材料となる。市は、上土棚地区での水害時の避難をどう考えているのか。

A　蓼川の氾濫に警戒するとともに、急激な水位上昇の恐れもあることから、早期の避難行動が重要と考える。必要となる気象、避難情報の把握に努め、避難者が適切に避難できるよう、防災行政用無線などで情報発信する。

●給食の食材廃棄問題について

Q　小・中学校が臨時休業となり、給食が休止された。市は、迅速な対応により、食材の納品を最小限に抑えたが、やむを得ず廃棄した食材の処分はどう行ったのか。

A　廃棄は、納入業者に任せており、職員の立ち会いや廃棄食材の写真撮影は行っていないが、業者から、廃棄証明書などで報告を受けた。

●給食の質の向上について

Q　腸内環境を整え、免疫力を高めるために有効な発酵食品を使った献立を考え、継続して取り入れないか。

A　献立は、学校給食摂取基準により、栄養士が作成しており、発酵食品も使用している。今後も、児童・生徒の心身の健全な発達を第一に考え、献立などの工夫により、食材をバランスよく使用し、健康増進に取り組みたい。

市の鳥「かわせみ」

本市の課題解決に向けた施策展開と行政運営は

創政会　青柳　愼

●今後の綾瀬市行政運営と教育行政について

Q　新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、課題解決に向けた施策展開や行政運営をどう行うのか。

A　感染終息後を想定し、生活の質を高められる施策などを実施する。少子高齢化が進む中でも、持続可能な都市として、活力と魅力に満ちた綾瀬の実現を目指していく。

●今後の市役所周辺地域の整備計画について

Q　地域経済の活性化につながる道の駅の整備状況は。また、旧消防本部庁舎跡地での商業施設の誘致状況は。

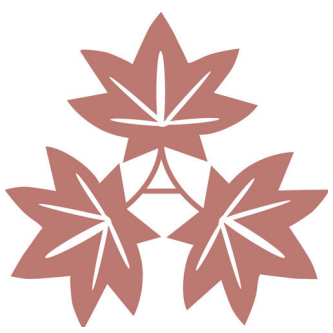
A　道の駅は、出入り口の位置を県警と協議している。計画地の買収に向けた地権者との交渉や施設の実施設計を行っていく。また、誘致は、感染症の影響で公募型プロポーザルの実施を延期し、今後、時期を判断していきたい。

Q　中心市街地の魅力を高めるため、誘致を予定している商業施設と公共施設との連携を期待するが、市の考えは。

A　市役所、商業施設、道の駅などを一体と捉え、にぎわいの創出や憩いの場となるよう、再編を検討したい。

Q　図書館は、所在地などで課題があると思うが、解決に向け、移転の考えはあるか。

A　中心市街地での位置付けを検討しながら、綾瀬らしい形を模索していきたい。



市の木「やまもみじ」

議会用語のミニ知識

「本会議と委員会」

議会の会議には、大きく分けて本会議と委員会があります。

本会議とは、議員全員で構成する会議のことをいい、年四回三月、六月、九月、十二月に開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。議会としての権限や能力は本会議に認められるもので、議会の議決、承認、同意などは、この本会議で行わなければ法的な効力はありません。

これに比べ委員会は、議会の内部組織として、議員の一部をもって構成する会議のことをいい、議会の運営を協議する議会運営委員会の他に綾瀬市には、三つの常任委員会と基地政策特別委員会があります。これらの委員会は、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。